

この説明文書は服用前に必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

M1ブロッカー配合
胃腸薬

イパンMI錠

第2類医薬品

ストレスや飲みすぎなど胃に負担がかかると、胃酸が必要以上に出過ぎてしまい、胃痛や胸やけの原因となることがあります。

イパンMI錠は、胃酸の出過ぎを抑えるM1ブロッカーのピレンゼピン塩酸塩水和物に、胃酸を中和して胃粘膜を保護する2種類の制酸剤と消化酵素を配合。胃痛、胸やけなどの胃酸の出過ぎによる不快な症状に優れた効果をあらわします。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が
起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を
起こしたことがある人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)透析療法を受けている人。

必ずお読みください。



2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

胃腸鎮痛鎮痙薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。)

4. 長期連用しないこと

🗨 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)授乳中の人。
- (3)高齢者。
- (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5)次の症状のある人。
排尿困難
- (6)次の診断を受けた人。
緑内障、腎臓病



2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、胃部膨満感
循 環 器	動悸
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
アナフィラキシー様症状	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

□のかわき、便秘、下痢

4. 2週間位服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効 能

- 胃痛、胸やけ、胃酸過多、胸つかえ、げっぷ
- 胃もたれ、胃重、胃部不快感、胃部膨満感
- はきけ(むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔気、悪心)、嘔吐、飲みすぎ
- 食べすぎ、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、消化促進、食欲不振

用法・用量

次の1回量を1日3回、毎食後に服用してください。

年 齢	1 回 量
成人(15才以上)	3錠
15才未満	服用しないでください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成分・分量

9錠中

成 分 名	分 量	作 用
ピレンゼピン塩酸塩水和物 (M ₁ ブロッカー)	47.1mg (無水物として45mg)	過剰な胃酸分泌を抑制します。
炭酸水素ナトリウム	1200mg	胃酸を中和します。
メタケイ酸アルミン酸 マグネシウム	900mg	過剰な胃酸を中和して胃粘膜を保護します。
ビオチン	30mg	食物の消化を助けます。

添加物:CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、乳糖水和物、セルロース

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。
- (5)水分が錠剤に付着しますと、表面の一部が溶けて斑点を生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないでください。

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話：058-278-3933
受付時間：10時～16時(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の お問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
☎ 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

小林薬品工業株式会社

本社所在地

岐阜県岐阜市中鷗1丁目139番地
東京都中央区日本橋箱崎町40番6号